



世界7カ国から9名の若手行政職員および大学准教授が研修員として宇部市を表敬訪問
 (前列左から、ガーナ研修員、JICA大川職員、宇部市藤崎副市長、宇部IECA松田理事長、メキシコ研修員、南アフリカ共和国研修員)
 (後列左から、モーリシャス研修員、ウクライナ研修員、南スーダン研修員、コンゴ研修員、ガーナ研修員、南スーダン研修員)

**JICA青年研修事業「環境管理（都市環境管理）」
 世界7カ国から9名の若手行政職員および大学准教授を招聘**



JICA中国センターが公募した青年研修事業「環境管理（都市環境管理）」を、宇部IECAは今年度も受託しました。世界7カ国（アルファベット順に、ガーナ、コンゴ、モーリシャス、メキシコ、南アフリカ共和国、南スーダン、ウクライナ）から9名の研修員が初来日しました。紛争や治安の面で困難な国からの参加もありました。2週間の限られた期間でしたが、宇部市民と交流しながら、和気あいあいと充実した研修ができました。研修の成果だけでなく、日本の生活や文化の学びなども、自国の課題解決に向けた意識啓発や行動変容の一助となることが期待されます。



JICA青年研修「環境管理（都市環境管理）」



独立行政法人 国際協力機構

対象7カ国の多様なニーズに対応するため、共通課題である基礎的な内容と国別固有課題を意識してプログラムを構成しました。始めに、宇部市が産業公害を克服した「宇部方式」の考え方・手法を学び、この方式が世界中で有効であることを理解しました。続いて宇部市の環境保全行政とSDGs未来都市の取り組みとして、地球温暖化対策、環境教育・学習（「せかい！動物かんきょう会議」宇部メソッドなど）を学びました。並行して、ごみの収集・処理・処分の現場を視察し、ごみ分別の実際や、資源ごみと一般ごみは処理の流れが異なることを理解しました。市民による家庭でのごみ分別、自治会のごみコンテナ管理など、市民と行政が分担協力して取り組むことの必要性和重要性を伝えました。さらに、宇部市の防災計画や備蓄、避難所の現場を紹介しました。固有課題の視点では災害廃棄物の処理について東日本大震災の事例を、また離島における小型焼却炉の活用事例を、それぞれ遠隔で受講しました。

環境技術については、宇部市と北九州市のリサイクル事業所を視察しました。宇部市では食品廃棄物の飼料化工場とプラスチックの再ペレット化工場を、北九州市ではエコタウンの自動車リサイクル工場と風力発電施設を見学し、また環境学習・交流拠点である環境ミュージアムも訪問しました。

週末には広島市を訪れ、平和記念公園と平和記念資料館で平和学習を、ガラス張りの焼却施設で有名な中工場を見学し、また宮島の世界文化遺産「厳島神社」で自然環境保護について学びました。

- ・実施主体：JICA 中国センター、宇部環境国際協力協会、宇部市
- ・実施期間：2025年11月27日(木) から 12月11日(木)までの15日間
- ・研修員：7カ国から9名の青年行政職員および大学准教授
- ・研修先：宇部市役所、宇部市環境保全センター、山口県環境保全事業団東見初広域最終処分場、新町資源ごみ拠点回収施設、鶉の島ふれあいセンター、ときわ公園・ときわ動物園、アクトビレッジおの、(株)アースクリエティブ、(株)広島企業、北九州市エコタウン、北九州市たかみや環境ミュージアム、広島平和記念公園・平和記念資料館、広島市中工場(焼却施設)、厳島神社（宮島）
- ・講師：宇部市、環境省中国四国地方環境事務所、山口大学名誉教授、山口大学大学院教授、宇部地区環境保全協会、(株)オープンハウス、(株)ヌールエ、(株)トマス技術研究所、(一社)宇部観光コンベンション協会、宇部市地球温暖化対策ネットワーク、宇部市小学校元教員

研修風景

ごみステーション見学

（この写真はJICA中国センターのパンフレットにおいて青年研修の紹介として掲載されます）



食品廃棄物の飼料化工場見学



「せかい！動物かんきょう会議」宇部メソッド



プログラムレポート発表会

CLAIR 自治体国際協力促進事業（モデル事業） 「先駆的ESD指導者育成のための研修事業」



（一財）自治体国際化協会(CLAIR)の助成を受けて、6月にインドネシア国リアウ州ブンカリス県を訪問し、今後の環境啓発事業の企画実施協力を確認するとともに、現地の環境状況を視察しました。また8月には、現地のNGOセメスタ職員3名を招聘して先駆的ESD指導者育成研修を実施し、今後の指導者育成のモデルとして、宇部市の小中学校が実施している環境教育・学習を中心に紹介しました。

これらの活動は、並行して進めていたJICA草の根技術協力事業の計画を具体化し、10月末の申請に向けた準備作業でもありました。ブンカリス県政府とNGOセメスタをカウンタパートとして、環境教育・学習の普及に関する新たな事業を企画し、事業提案書を取りまとめてJICA提案につなげました。

①視察調査

- ・期間：2025年:6月1日(日)～8日(日)（現地滞在期間6月3日(火)～6日(金)）
- ・場所：インドネシア共和国リアウ州ブンカリス県ブンカリス島
- ・訪問者：宇部IECA職員2名および現地調整役兼通訳1名
- ・内容：6/3 県庁訪問～JICA事業計画および事業提案書作成作業を説明、両者協力実施を確認
6/4 各地視察～小学校の環境活動、マングローブ保護区、泥炭地の公園と海岸浸食、上水浄化施設
6/5 各地視察～家庭ごみ集積場、廃棄物回収業者集積場、廃棄物最終処分場埋立地、ブンカリス工科大学と構内ごみ銀行、マングローブ自然林
6/6 セメスタと協議～JICA事業の実施内容、役割分担、提案書作成手順、作業工程など

視察調査



6/3 ブンカリス県庁訪問



6/3 JICA事業計画説明



6/4 小学校訪問



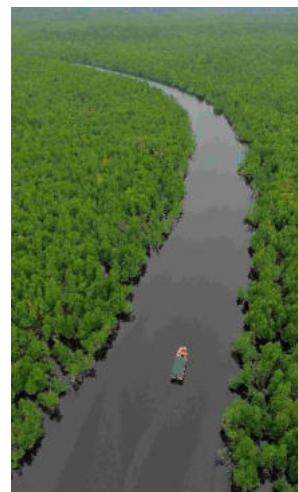
6/4 公園の泥炭地海岸浸食



6/5 最終処分場埋立地



6/6 セメスタと協議



6/5 マングローブ自然林

「先駆的ESD指導者育成研修」の概要

②先駆的指導者育成研修

- ・実施主体：一般財団法人 自治体国際化協会（CLAIR/クレア）、宇部市、宇部環境国際協力協会
 - ・期間：2025年8月23日(土)～8月30日(土)（宇部到着から出発まで8日間）
 - ・場所：宇部市
 - ・研修員：インドネシア共和国リアウ州ブンカリス県のNGOセメスタ職員3名
 - ・内容：研修ではまず「宇部方式」と宇部市の環境保全行政を学び、続いてSDGs未来都市として宇部市が進める環境教育・学習のビジョンや小中学校のカリキュラムを学びました。一般廃棄物については、分別・収集・再利用・焼却・埋立の各段階における現場施設を見学し、ごみの分別と資源ごみのリサイクルの現状を学び、“ごみ”と“資源”それぞれの処理と流れの違いを理解しました。また、「ごみ分別ゲーム」の体験演習、動物の立場になって環境問題を考える「せかい！動物かんきょう会議」宇部メソッドの講義と演習、環境学習の現場である里山ビオトープ二俣瀬の見学、小学校での環境出前授業の参観など、宇部市が実践する多様な環境教育・学習を体験しました。
- 研修員はこれらの研修成果を持ち帰り、地域の環境問題を解決する先駆的ESDリーダーとして現地の環境啓発活動を率先して展開しているほか、JICA草の根技術協力事業の計画にも貢献しました。
- ・研修先：宇部市役所、宇部市環境保全センター、山口県環境保全事業団東見初広域最終処分場、新町資源ごみ拠点回収施設、鶴の島ふれあいセンター、宇部市立岬小学校、里山ビオトープ二俣瀬、ときわ公園・ときわ動物園
 - ・講師：宇部市、山口大学名誉教授、(株)オープンハウス、(株)ヌールエ、(一社)宇部観光コンベンション協会、宇部市地球温暖化対策ネットワーク、元宇部市小学校教員



招聘研修



篠崎市長表敬訪問



(株)オープンハウス「サステナブルデザイン」講義



「せかい！動物かんきょう会議」宇部メソッド
講義とキャラクター作品



帰国後の独自演習

環境国際セミナー：講演「途上国の水・衛生・ごみ問題 ～バングラデシュとインドネシアの事例を中心に～」

世界には安全な飲み水の確保が難しかったり、衛生的な環境が整っていない地域が数多く存在し、不衛生な生活環境による健康被害が、生活の質や社会の発展に深刻な影響を及ぼしています。

本セミナーでは、後開発途上国バングラデシュと、高中所得国インドネシアを例に、それぞれの国が直面している水・衛生・ごみ問題についてご講演いただきました。バングラデシュでは地質由来のヒ素による飲料水汚染やスラムの衛生環境について、インドネシアではプカンバル市やブンカリス島での生活体験を交えながら、現地が抱える困難な状況について具体的な事例をご紹介いただきました。

演 題：「途上国の水・衛生・ごみ問題～バングラ
デシュとインドネシアの事例を中心に～」

講 師：山口大学大学院 創成科学研究科
社会建設工学分野 学術研究員 山本裕子 氏

日 時：2025年6月20日（金）15:00～16:30

会 場：宇部市立図書館2階 講座室

参加者：40名

共 催：宇部市



環境保全技術講座：国際交流～環境学習研修会 「医療廃棄物、一般廃棄物との違いとその処理方法について」

外国人留学生・職員が学生や宇部市民とともに宇部市近隣の環境関連施設を見学・学習する会を、昨年と同様に実施しました。本見学会では外国人留学生・職員と学生・宇部市民の交流を深めるとともに、医療廃棄物の処理に焦点をあて、一般廃棄物との処理の違いを学ぶ貴重な機会となりました。

見学先：① 宇部市環境保全センター
(焼却場及びリサイクルプラザ)

② 山口大学医学部付属病院

③ 共英製鋼(株)

日 時：2025年9月30日（火）8:30～17:00

参加者：16名（英語通訳者1名を含む）

後 援：宇部市

助 成：公益財団法人 山口県国際交流協会



宇部市環境保全センター



山口大学附属病院



共英製鋼(株)

新規環境技術研修コースの企画・提案、 研修プログラムの策定

1) JICA草の根技術協力事業（地域活性型）の申請

インドネシア共和国リアウ州ブンカリス県と宇部市は環境分野での交流を長年続けてきましたが、JICA草の根技術協力事業についてはコロナの影響で中断していました。このたび、学童を対象にしたESD-環境教育・学習の普及と、親世代の住民への環境啓発を通じて地域の環境課題の改善を図ることを目的として、2025年度のJICA草の根技術協力事業への申請を決定し、現地のNGOセメスタと協力して事業内容の検討と具体化を進めました。

2025年はCLAIRモデル事業によって、ブンカリス県の現地を訪問して県政府と協力関係を確認するとともに、招聘研修を実施して環境教育の先駆的指導者を育成しました。こうした活動を通して、JICA草の根技術協力事業の検討と具体化を進め、現地と協力しながら事業提案書を取りまとめて10月に申請を行いました。

しかし残念ながら、3月末に採択に至らずとの通知を受け、2026年度の事業実施は見送りとなりました。引き続きブンカリス県政府、NGOセメスタと協力して事業内容の見直し改善を図り、2026年度に再申請することを検討します。



2) 2026年度JICA青年研修「環境管理」の応募

JICA中国センターは中国地方の団体を対象に、毎年様々な分野で研修事業を公募しています。「環境管理」分野の青年研修事業は2008年から継続して公募されており、宇部IECAはこれに毎年応募してきました。

2026年度についても多様な国々を対象とした都市環境管理研修が計画されていますので、2025年度の実績を踏まえて、共通基礎的内容と参加国の個別ニーズを両立させ、より充実したプログラムを構築し、応募に向けて作業を進める考えです。



3) 2027年度実施CLAIRモデル事業の企画申請

2025年度はJICA草の根技術協力事業の申請作業に集中するため、CLAIRモデル事業の企画申請は行いませんでした。2026年度はインドネシア共和国パプア州の離島・スピオリ島における環境啓発事業（2024年実施）の強化発展を支援する事業を企画したいと考えており、スピオリ島に隣接するピアク島から行政職員を招聘して環境管理研修を実施する事業を立案して申請する考えです。



4) 環境教育・学習の普及など、研修プログラム拡大の取り組み

環境管理研修を受講した研修員のアンケート回答や感想などによると、これまでの固形廃棄物（ごみ）や上下水道の管理に加えて、海洋プラスチック問題、都市計画、都市防災、環境教育・学習の普及など、より幅広いテーマへの学習ニーズが高まっています。こうした要望に応えるため、宇部市の市民環境部だけでなく、総務部防災危機管理課や都市政策部公園緑地課など、様々な部署の協力を得て講義や見学会を実施しています。また、環境教育・学習の普及については、市内の小中学校が実施する出前授業の参観や模擬演習を伴う体験型の学習をプログラムに取り入れることで記憶に残る研修となり、多くの研修員から高い評価を得ています。

環境に関わる会議・Webセミナーなどの参加



- 4/08 Webセミナー「ドイツ・レゲンスブルクの廃棄物処理施設ツアーで見たこと」byサキウーエノミドット東京
- 4/09 Webセミナー「原生林を燃やす日本のパナソニック・燃料生産地視察」by地球-人間環境フォーラム
- 4/23 Webセミナー「オランダの学校制度から日本が学べること～日本の教育改革への示唆」by CLAIR
- 4/28 Webセミナー「熱帯沿岸泥炭地における環境・衛生・防災の複合的問題の現状」by山本浩一山口大学教授
- 4/29 「せかい！動物かんきょう会議」イストラクターキックオフミーティング @ヒストリア宇部
- 5/28 Webセミナー「プロトコール（国際儀礼）セミナー」by CLAIR/外務省@宇部市役所
- 6/18 山口県国際交流協会 評議会
- 6/18-19 Web研修「NGO等向け基礎からはじめる国際協力事業研修（計画・立案研修）」by JICA
- 6/26 小学校環境学習「野外活動」自然はともだちin二俣瀬 体験 by UNCCA, 二俣瀬小学校
- 7/02 Webセミナー「気候変動から考えるわたしたちの食」by SOMPO
- 7/11 Webセミナー「海洋プラスチック編！海に流れたプラスチック、その後どうなる？」byごみの学校
- 7/16 Webセミナー「自治体国際交流表彰受賞団体による交流事業例紹介 第19回」by CLAIR
- 7/16 Webセミナー「初の脱炭素・資源循環のまちづくり（佐賀市）」by SOMPO
- 7/17 宇部市ネット省エネ・温室効果が削減研究協議会 総会・講演会・交流会@宇部興産ビル
- 7/24 Webセミナー「草の根技術協力事業について2025年度第1回NGO-JICA勉強会」by JICA
- 7/25 Webセミナー「地域発の国際協力～持続可能な未来を共につくる～」by CLAIR国際協力セミナー
- 7/30,31,8/08 Webセミナー「草の根技術協力事業在外事務所説明会/ラオス、インドネシア、パルほか」by JICA
- 8/05 対面研修「環境教育指導者研修会」令和7年度by宇部市 @福祉ふれあいセンター
- 8/5-6 Web研修「NGO等向け基礎からはじめる国際協力事業研修（計画・立案編）」by JICA
- 8/30 宇部青年会議所創立70周年記念大会@渡辺翁記念会館
- 9/03 Webセミナー「天気予報から学ぶ気象と防災」by SOMPO
- 9/12 Webセミナー「NPOのための個人情報取扱いの基礎知識」by山口県民活動支援センター
- 9/17 Webセミナー「身近な生きものに迫る危機～里地の生物多様性の変化」by SOMPO
- 11/07 宇部市環境審議会 第1回@宇部市立図書館2FL
- 11/12 小学校環境学習「ペットボトルリサイクル」@黒石小学校by廃棄物対策課+JEPLAN
- 11/13 Web研修「宇部市ネット省エネ・温室効果が削減研究協議会 令和7年度 研修会」
- 11/21 林業のつなぐ山口西地区地域対話 第15回by日本化学工業協会RC委員会@国際ホテル宇部
- 12/05 Web説明会「マツダ財団市民活動支援」byマツダ財団
- 12/07 宇部市多文化交流パーティby宇部市@宇部市役所市民交流棟（JICA青年研修員3名参加）
- 1/10 Webセミナー「はじめての法人格講座」by県民活動支援センター
- 1/11 UKC特別加「AI社会の生き方について」@男女共同参画センター
- 1/13 Webセミナー「生物多様性とビジネス “進化のつぼ” 阿蘇島の熱帯林と再造林の隠れた関係」by WWF
- 1/21-22 Web研修「NGO向け基礎から始める国際協力事業研修プログラム・評価編」by JICA
- 1/29 宇部市環境審議会 研修会（工場見学）@UBE三菱（株）宇部発電所パナソニック発電設備
- 1/30 山口きらめき財団助成事業説明会@宇部市民活動支援センター
- 2/07 「子どもたちのための/ときわ動物園ツアー」準備作業by宇部市&SDGsグループ@体験学習館エスエス
- 2/09 宇部市環境審議会 第2回@宇部市役所市民交流棟2階会議室
- 2/16 対面セミナー「人を手段化しない文化場づくり」@市民活動支援センター
- 3/08 ESD研修会・環境加byうべ環境コミュニティ(UKC)@宇部市役所市民交流棟
- 3/26 山口県国際交流協会 評議会

注）SOMPO: SOMPO環境財団による市民のための環境公開講座, WWF: 世界自然保護基金ジャパンによる各種セミナー・環境3団体（UKC, UNCCA, 宇部IECA）の月次定例連絡会は毎月第一水曜日に実施しています。

広報活動

- (1) 2025年9月24日（水）～10月31日（金）：宇部市民活動支援センター@宇部市役所でのパネル展示会「環境を守る私たち」において宇部IECAの最近の活動を紹介しました。
- (2) 2025年9月26日（金）：中国水工(株)本社@あすとびあを訪問、宇部IECAの活動紹介と協力の可能性について意見交換しました。
- (3) 2025年11月1日（土）～12月15日（月）：宇部市民活動支援センター@宇部市役所でのパネル展示会「市民活動団体の活動紹介」において宇部IECAの活動概要を紹介しました。
- (4) 2025年12月14日（日）：宇部市主催「デコ活イン・ライブラリー」@宇部市立図書館2階において宇部IECAの活動概要をパネル展示で紹介しました。
- (5) 2026年3月8日（日）：うべ環境コミュニティ主催「ESD研修会・環境サロン」@宇部市役所において「JICA青年研修で最近求められること」と題して講演し、宇部IECAの最近の活動と外国人研修員の関心动向を紹介しました。評価が高いテーマ動向を紹介しました。



理事会 及び 総会

(1) 理事会：
日時：2025年5月21日（水）
会場：宇部IECA事務所
・前年度事業実績、新年度事業計画などを報告・審議し、承認されました。

(2) 総会：
日時：2025年6月20日（金）
会場：新川ふれあいセンター2階会議室
・前年度事業実績、新年度事業計画などを報告・審議し、承認されました。



ボランティアのお願い

国際交流のボランティアを募集しています。皆様方の実情に合ったボランティアを積極的に行っていただけませんか。

＜国際交流ボランティア＞

今後も海外から多数の研修生が宇部市を訪れます。外国語（英語、スペイン語、中国語等）の会話が可能な方に、休日のホームステイ、宇部市内外の案内等をお願いします。



会/員/募/集



＼会員になって一緒に国際交流活動をしてみませんか／
宇部IECAは会員の皆様の会費により運営されています。宇部方式は市民の皆様が積極的に参加することから始まります。お知り合いの方々へ是非誘いをお願いします。

- ・会員数 ●個人：82人 ☆法人：35団体
- ・年会費 ●個人：1口 1,000円 ☆法人：1口 10,000円
- ・入会金 無料

発行

宇部IECA 宇部環境国際協力協会

Ube International Environmental Cooperative Association

〒755-0045 山口県宇部市中央町2丁目11番21号

宇部市まちなか環境学習館 「銀天エコプラザ」3F

TEL&FAX: 0836-36-3199

E-mail: info@ieca.biz

<https://www.ieca.biz>



<https://www.ieca.biz/>
<https://www.ieca.biz/>
<https://www.ieca.biz/>